

BEET JAPAN

BEET 政府認証マフラー

NASSERT Evolution Type II

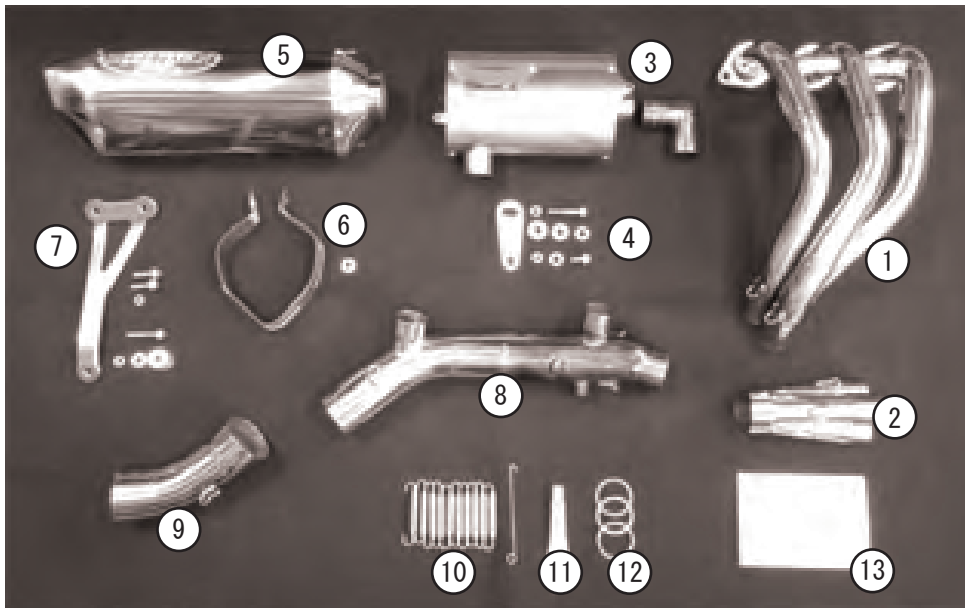
YAMAHA MT09 ('17 ~)

取扱説明書

▲ 注意 作業前に必ずお読み下さい。

パッケージの内容を下の写真でご確認下さい。

- 取り付け作業に関しましては、設備の整ったバイクショップ又は、パーツショップに作業依頼することをお勧めします。
- 取り付け作業者は、必ず取り付け説明の各項目、注意事項、部品構成を理解した上で、作業を進めてください。
- 作業をされたショップの作業者は、ノーマルパーツ及び説明書などは必ずユーザーの方へお渡し下さい。



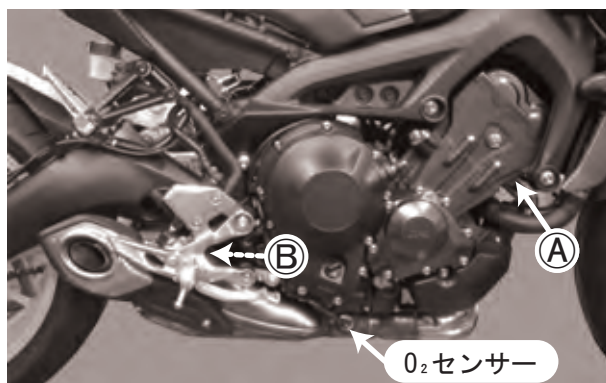
1	エキパイ	7	サイレンサーステーセット
2	集合部	8	テールパイプ①
3	サブサイレンサーセット	9	テールパイプ②
4	サブサイレンサー取付セット	10	スプリングセット
5	サイレンサー	11	耐熱シリコン
6	サイレンサーバンドセット	12	ガスケット
		13	保証書セット

I ノーマルマフラーの取り外し



注意

走行後マフラーは非常に高温になっております。十分冷ましてから作業を行ってください。



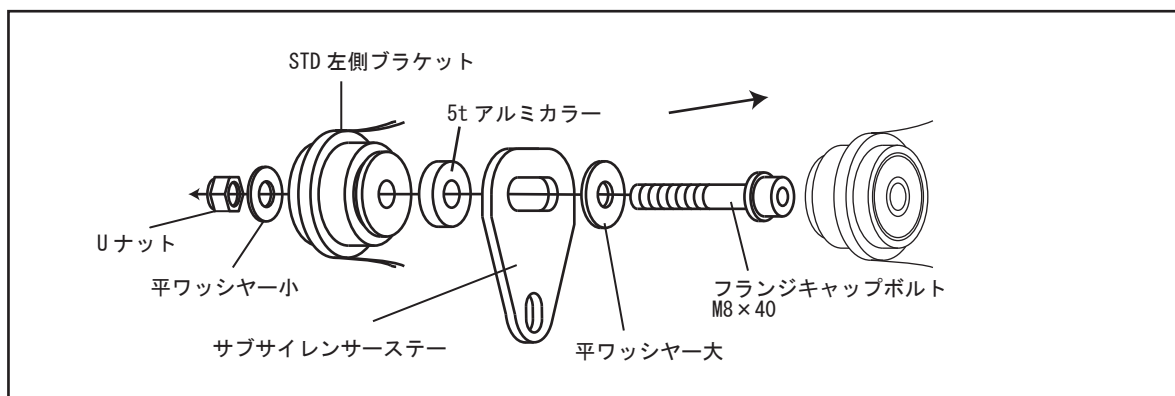
HINT

ノーマルマフラーは重量が重いのでジャッキ等を使用することをおすすめします。

- O₂センサーを取り外します。
 - マフラー本体下部をジャッキ等で支え、**Ⓐ**ナット、**Ⓑ**ボルト2本 (R, L) を外しマフラー本体を取り外します。
- * **Ⓐ**ナットは BEET ナサートマフラー取り付け時使用します。

II ナサートマフラーの取り付け準備 1

【サブサイレンサーステー取り付け】



- STD 左側ブラケットに付属のサブサイレンサーステーを図のように取り付けます。

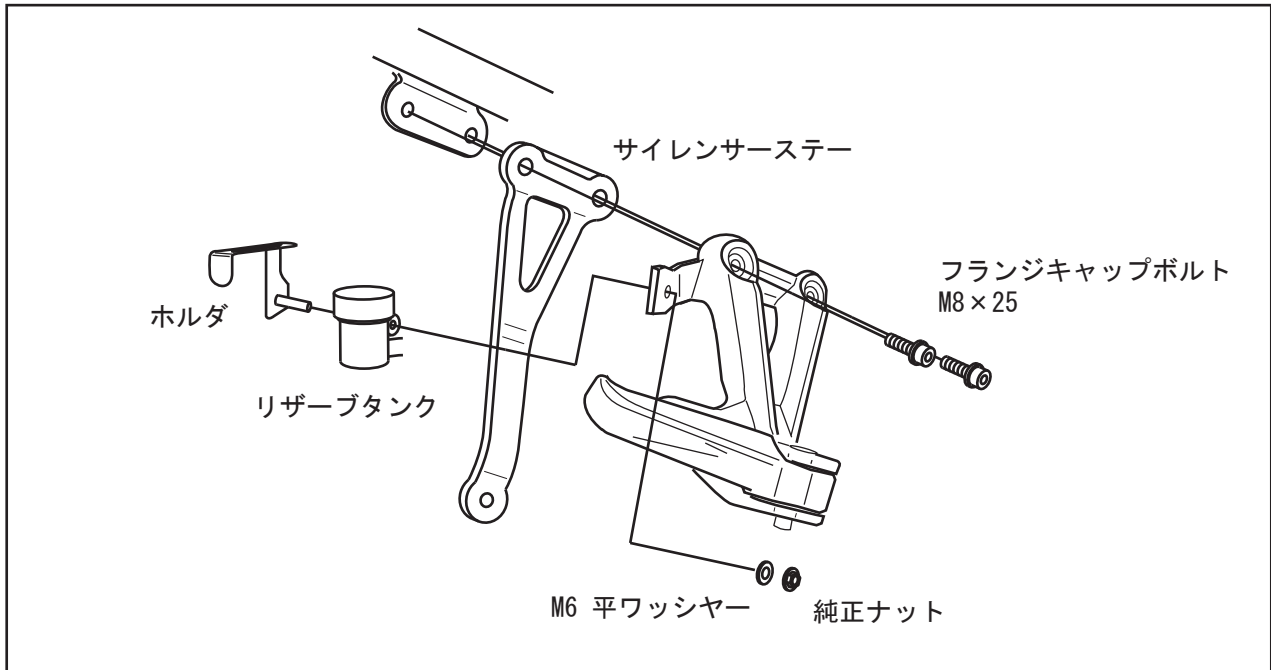
(仮締めの状態にしておきます。)

後方から見た図



II ナサートマフラーの取り付け準備 2

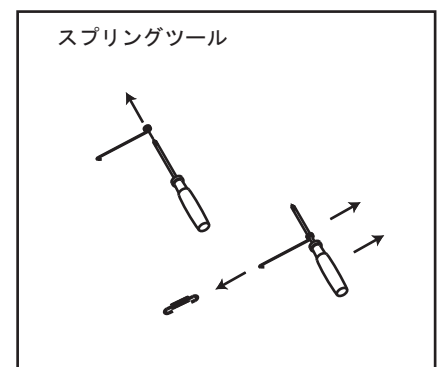
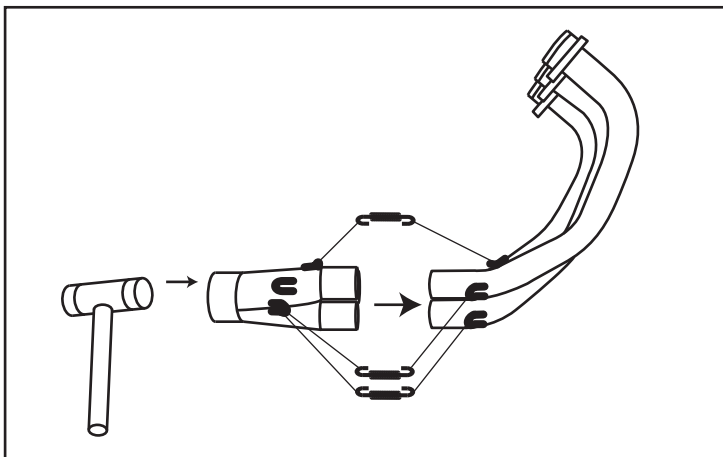
【サイレンサーステーの取り付け】



- サイレンサーステー、リザーブタンク、ホルダを図のように取り付けます。

III ナサートマフラーの取り付け 1

【エキパイの組み立て】



- エキパイに集合部、スプリングを取り付けます。

- 組み立て時、差し込み部分に薄く耐熱シリコンを塗布してください。

HINT 集合部のジョイント部分は高精度に出来ていますので、プラスチックハンマー等で軽く振動を与えながら慎重に組み立てます。

Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 2

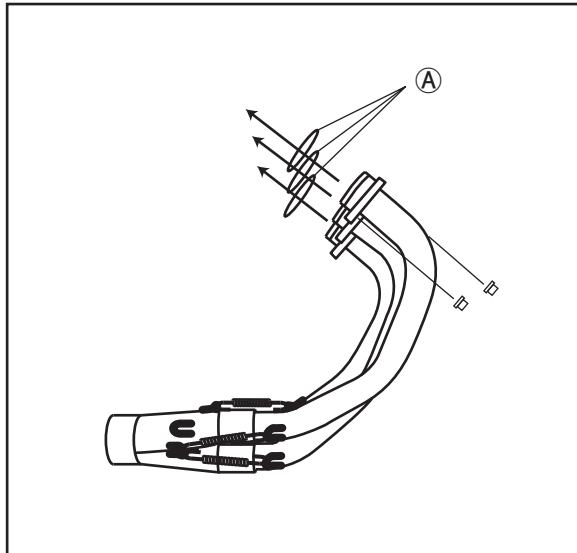
【エキパイの取り付け】

- エキパイガasketを付属①に交換します。

HINT

耐熱シリコンを少量塗っておくと
落下防止になり取り付けやすくな
ります。

- ノーマルのナットを使用して
取り付けます。
(仮止めの状態にしておきます。)

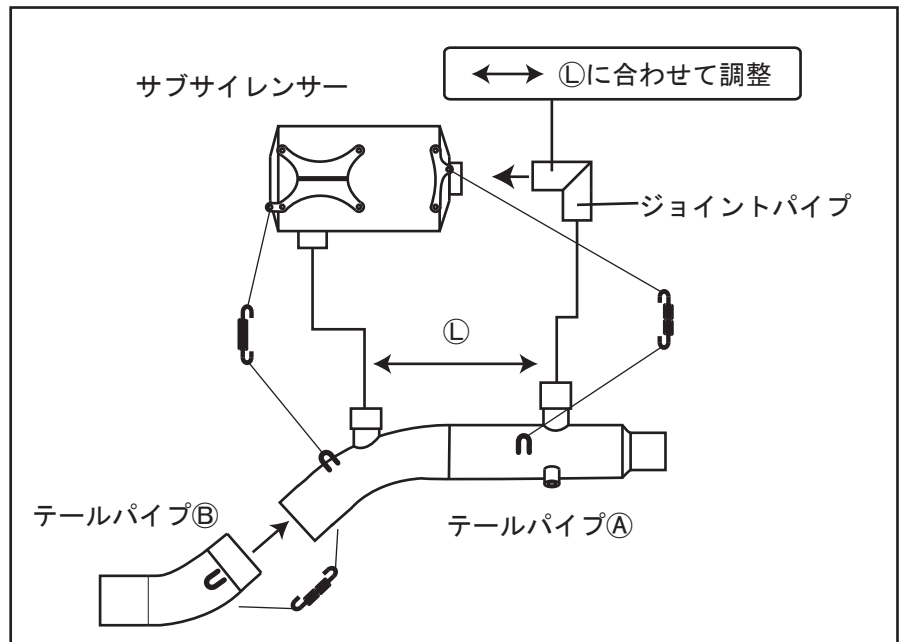


【テールパイプの組み立て】

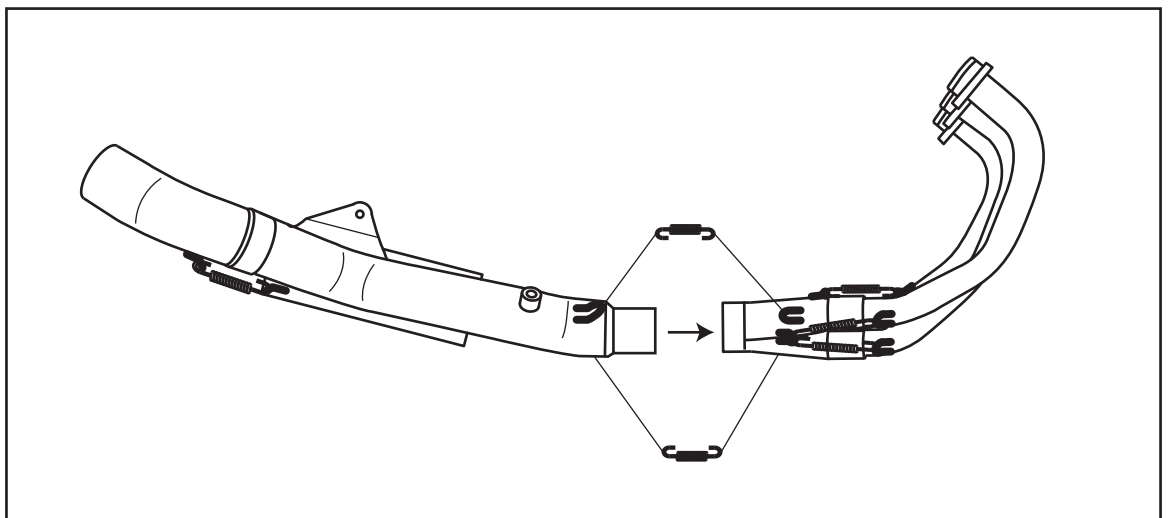
- サブサイレンサーとジョイントパイプを
テールパイプ①の差し込み部分の長さ②
に調整し取り付けます。
- テールパイプ②を取り付けます。



- テールパイプ裏側の向かい合うフックが
直線上になるよう取り付けます。



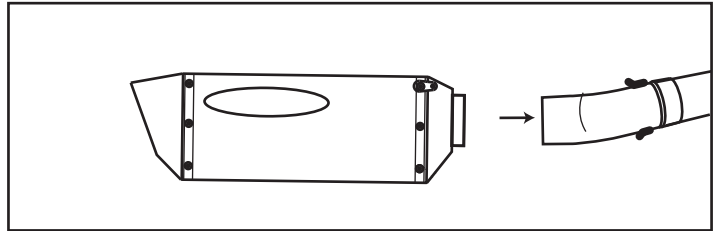
- エキパイにテールパイプ、スプリングを取り付けます。



Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 3

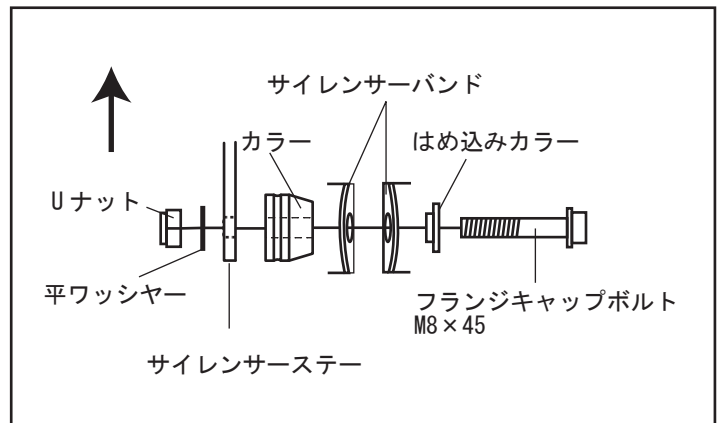
【サイレンサーの取り付け】

- サイレンサーを取り付けます。



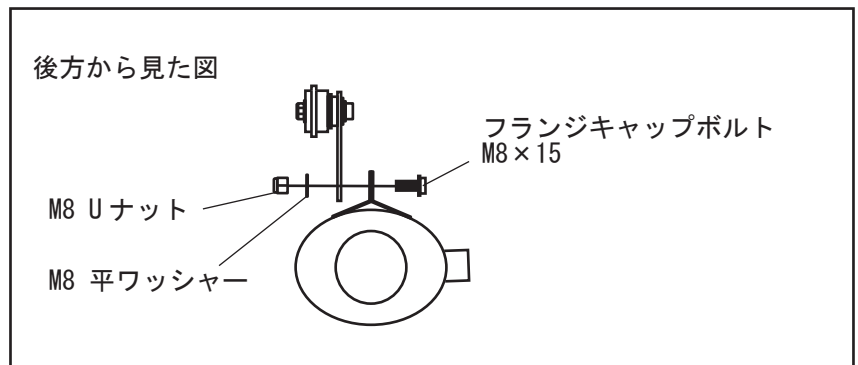
- サイレンサーにサイレンサーバンドを通し図のように取り付けます。

※ 仮締めめの状態にしておきます。



- サイレンサーにスプリングを取り付けます。

- 図のようにサブサイレンサーを仮止めします。



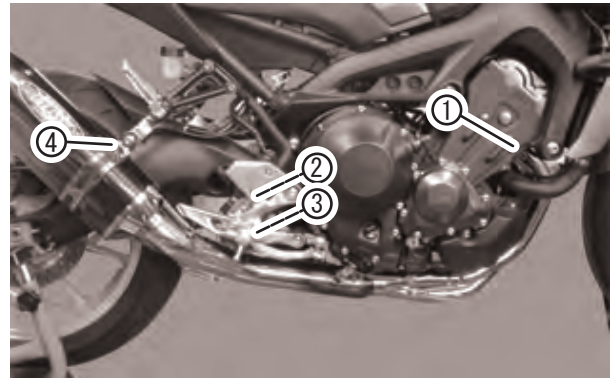
⚠ この時点で各パーツがフレーム等と干渉していないかチェックしクリアランスを調整します。

Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 4

【本締め】

次の順で本締めしていきます。

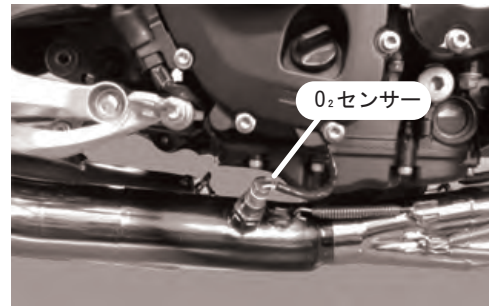
- ① エキパイフランジナット
- ② サブサイレンサーステー上
- ③ サブサイレンサーステー下
- ④ サイレンサーステーとバンド



⚠ ① エキパイフランジナットは均等に締め付けを行ってください。
ボルト、ナットを痛めたり排気漏れの原因となります。

【O₂センサー取付】

図のように取付け、配線をクランプ、
元通りに結線します。



標準締め付けトルク

下表はねじ部の直径によって決まる標準締め付けトルクです。
値はいずれもパーツクリーナー等で洗浄した後の乾燥したねじ部に対するものです。

ねじ部直径 (mm)	N・m	kgf・m
5	4.5	0.46
6	8.0	0.82
8	20	2.0
10	35	3.6
12	60	6.1

- 各部ボルト、ナットの締め忘れがないか、干渉しているところがないか再度確認します。
- 本締めが完了したらエンジンを始動する前に、マフラー全体をパーツクリーナー等で脱脂します。

⚠ 油分がついたままマフラーに熱が入ると焼色にムラが生じます。

- エンジンを始動し排気漏れがないか確認します。

⚠ エンジンを始動するときは、換気のよい所で行ってください。

- すべてのボルト・ナットは定期的にチェック、増し締めを行ってください。